

訪問リハビリテーションにおける成果

利用者情報 70歳代男性 病名：頸椎症性脊髄症の術後

経過

本人の希望の「近くの商店まで行きたい」を目標に訪問リハビリ開始。
(開始時の FIM78 点)

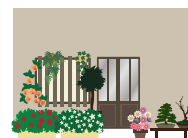
自宅は 2 階であり、階段を降りられず生活範囲はごく狭いものになっていた。

リハビリ開始 8 か月後より自宅前の廊下歩行が可能となる。(20m 程)

さらに 2 か月後には商店まで一人で行けるようになる。

その後も歩行距離延ばし、商店からさらに進んだ川沿いを散歩するなど、リハビリ時間は毎回屋外歩行行えるようになっていく。(往復 200m 程)

一人で外に行く機会が増え、他者や動物と触れ合えるようになり、季節や自宅周辺の変化に気がつくようになり、在宅生活を楽しんでいる。(現在の FIM99 点)



①ADL変化

押し車歩行が可能になった

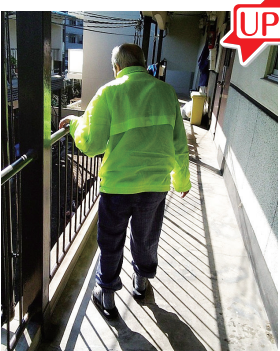
①介入前
ベッド上生活



②令和1年1月
ベッド周辺歩行



③令和2年10月
屋外歩行



④令和2年10月
屋外歩行



② 歩行距離

歩行距離 **160m** **UP!**

- 自宅廊下(伝い歩き)



20m

- 屋外 川沿いまでの歩行 (押し車歩行)



100m

③ 階段

介助なしで階段昇降可能となった

- 令和2年3月
介助必要



- 令和2年10月
介助なし



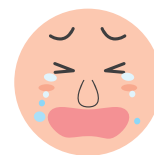
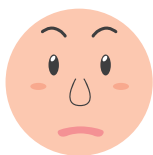
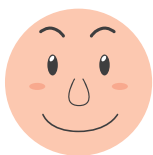
UP!

④ 痛みの変化

Face Scale変化

痛み**スケール 1**に改善 **UP!**

- 介入前



0
まったく痛みがなくとても幸せ

1
ちょっとだけ痛い

2
それよりもう少し痛い

3
もっと痛い

4
かなり痛い

5
必ず泣くほどではないが想像できるもっとも強い痛み

- 現在

